

# 広報ののいちを誰にでも 読みやすいレイアウトに改善する

## 目的

どの年代層の読者でも読みやすい広報紙を目指す。具体的には文字が小さく、余白が大きいと、**視覚効果**が働き、読みづらくなる。この視覚効果を良い方向へ改善する。

### 顧客の声

インターネットで広報誌において顧客の要望のアンケートを見ると、文字が小さい、余白の量に不満がある、という結果であった。

### 改善策

文字の大きさと余白の大きさを考慮し、大きさの変更を行う。

### 必ず満たすべき条件

1. 大きすぎず、小さすぎない程度の余白
2. 誰にでも見やすいと感じられる文字の大きさ

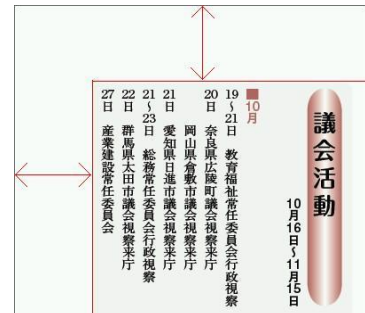
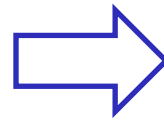
### 野々市役場からの制約条件

1. コストは増やせない
2. なるべくページを増やしたくない

### 調査の具体的な方法

1. コンクールに入選している広報紙の記事の本文を実物、もしくはwebで見る。
2. 定規をあてて端から文字の距離を測る。
3. 文字をMicrosoft Office Word2007で書いたものと見比べて、記録する。

## 調査の一例



## 調査の結果 入賞した広報紙との比較一例

	広報ののいち (町)	広報みまた (町)	広報まにわ (市)	広報なりた (市)
余白(上下)	2cm	1.5cm	2cm	1cm
余白(左右)	2cm	2cm	1.5cm	1.5cm
文字の大きさ	10pt	10.5pt	11pt	12pt

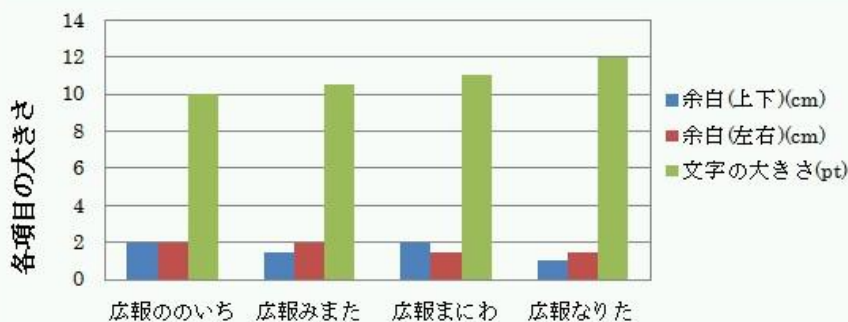


図1 広報紙の余白と文字の比較

視覚効果を考慮すると  
余白上下左右**1~1.5cm**  
文字の大きさ**11pt**  
上記のような設定が望ましい。

金沢工業大学  
2009年度 プロジェクトデザインII  
プロジェクトテーマ : 広報ののいちを誰にでも読みやすいレイアウトに改善する  
クラス番号 : IC301  
チーム番号 : 3  
チーム名 : ITO  
チームメンバー名 : 池本匡志 伊藤祐規  
窪田茂雄 中村伊織  
中野智継  
担当教員名 : 磯崎 俊明